

夏休みの思い出

青少年相談員による少年少女のつどい大会



て、残念だった。

同じ班になった時、知らない人で楽しくやつていけるかと思つたりもした。

とうとう、班が決まる。

で終つてしまつたように思える。つどい大会に出て、友達もたくさんでよかつたと思う。

二日目の朝に、住所を教えあたり、トランプをやつたり騒いでいたのがとても乐しかった。それに、友達が十人以上できたので、中学に行つてもいろんな人と仲良くなれると思つた。

さけたりしていた。

さて、寝る時にはすっかり仲良くなつて、つづきあつたり、ふとくらみながら自分の名前が呼ばれるのを待つた。

さくらみながら自分の名前が呼ばれるのを待つた。

でも、みんなと遊んでいるうちに白浜の小林君と仲良くなつた。

そして、夜も一緒に寝

たりして、ますます、仲良しになつた。

それに、寸劇も班で仲良くできたので、うれしかつた。

私は、五班になり同じ小学校の人は五人もいて、その中でも同じ組の女子がいたので、ひとまずほつとした。

中学校へいつても、一つ年上の小林君と仲良くしたいなと思った。

ぼくは、つどい大会をやつてよかつたと思う。でも、寸劇やゲームで賞をもらえたのが、一番残念であった。

夜のキャンドルサービスは、東陽小学校の体育館でやり、寸劇もせいいっぱいやり、楽しくすごせました。

この二日間、楽しいことばかり

◎よい子の作品



南条小5年
村越秀明



白浜小6年
椎名裕子

秋の全国交通安全運動

ぼくは、つどい大会に来るまで、日吉、東陽、白浜の人達と集まつたことは一度もなかつた。そして、車から降りた時、知つている人は、日吉、東陽、白浜にはいなかつた。ぼくは、知つている人がいなく

つどい大会が開かれました。知つている人も少しさいたが、まったく知らない人がほとんどで、またつどい大会が開かれました。



ゲーム中の少年少女



東陽小5年
青木美英

思い出せば、この二日間とても楽しかったと思う。

初めて、協同館に入った時は、同

じ東陽小の友達は、六年の女子だけで、六人しかいなかつたし、それには班に分けるにしても東陽小の

人が、全部一諸ということもならないので、私は「ああ、こんなところくるんじやなかつた」と思つた。

本当にこんなつまらない感じで二日もいられるのか心配だつた。でもその心配も、この日の夕方で終つた。